

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇研修	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	生徒の主体的で対話的な深い学びの実現を目指したアクティブ・ラーニングへの授業改善と、いじめや不登校に早期に対応し生徒の心の問題にきめ細かく向き合える職員の指導力の向上を目標に教育活動を進めている。生徒・保護者対象のアンケートでは、大半が学習指導や生徒指導に先生が熱心に取り組んでおり、生徒の安全・安心に配慮した指導がなされているという点で高い評価を得ている。授業を通して一人一人の能力に応じた指導が行われているという認識には、保護者と生徒の間では少し隔たりがあり、生徒の実態を的確にとらえた、学校全体の適切な指導体制づくりと職員一人一人の能力の向上には改善の余地も見られる。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇アクティブ・ラーニングによる授業改善と指導力の向上。 ◇いじめや不登校、発達障害等に関する生徒理解及び対応能力の向上。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 企画委員会、生徒指導委員会、人権教育委員会 分掌会、教科会、学年会 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) 授業公開を積極的に実施し、教員による相互評価、管理職による授業参観と指導・助言、自己啓発面談を進める。</p> <p>(2) いじめの早期発見と不登校への早期対応をスクールカウンセラーの活用を積極的にして指導の充実に努める。</p>	<p>(1) 生徒及び保護者アンケート、教員の相互評価、生徒対象の授業アンケート（満足度調査）結果</p> <p>(2) 生徒対象生活アンケート（迷惑調査）、M2-DV（生徒自己理解調査）結果、保護者対象メールアンケート</p>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> 年2回の授業公開週間を設定し、外部評価を受けるとともに職員相互の授業評価を実施する。 管理職による授業参観、自己啓発面談を行い、アクティブ・ラーニングによる授業改善を進める。 生徒に関する教員間の情報共有を図るとともに、早期に適切に対応する体制づくりと職員の指導力を向上させる。 	<p>① 教科の枠を越えた授業参観及び相互評価を通して、授業力が向上できたか。</p> <p>② いじめ・不登校等に対する理解を深め、適切に対応する方法を学び実践できたか。</p>	<p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A B C D</p>
11 成果・課題	<p>(成果)</p> <p>○公開授業などの研究の進め方について工夫し、アクティブ・ラーニングについて各教科で授業研究を進めることができた。</p> <p>○一人一人の職員がいじめや不登校についての感覚を敏感にして教育活動を進め、各種調査からも予兆を早期に発見し、スクールカウンセラーを積極的に活用し関係機関とも連携を密にして対応することができた。</p> <p>(課題)</p> <p>▲アクティブ・ラーニングは全職員ができるというには至っておらず、来年度は情報機器の活用も含め授業改善に取り組む必要がある。</p>	
		<p>総合評価</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>

12 来年度に向けての改善方策案

- ESDを組み込んだ教育課程の編成と教育実践を推進し、アクティブ・ラーニングによる指導力の向上に努めたい。そのために、先進校の視察や外部人材を有効活用し、職員が研修する場を積極的かつ計画的に実施したい。
- いじめの未然防止と早期発見・迅速な対応、不登校への早期対応ときめ細かい支援体制について職員間で共通理解を図り、情報を共有し問題解決に速やかに向かう職員体制を確立したい。

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年2月16日

【意見・要望・評価等】

- 多くの生徒が、学校の近郊に住んでおり和気あいあいとした雰囲気の中で学校生活を送ることができる。そのため、余計な不安やプレッシャーがなく、新しいことにチャレンジをしたり、色々な研修等にも参加しやすいのではないか。常に現状に満足せず、みんなで切磋琢磨していったほしい。
- 形式でなく実質にこだわった研修が行われていることを評価したい。たとえば、いじめの未然防止、早期発見への工夫をこらした迅速な対応など、生徒の立場に立った効果ある教員間の意思統一、情報共有体制への努力の成果を期待したい。
- 毎日のようにテレビ新聞で報道されている友人からのいじめにプラスして、先生からのいじめなど私たちには考えられないことばかりです。早期対応、暖かいご指導をお願いしたい。
- スクールカウンセラーの活用の充実に期待します。